

I. 研修について

耳鼻咽喉科領域における医療は聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚などの感覚器の障害、人のコミュニケーション手段として最も重要な音声、言語の障害、炎症性疾患、腫瘍性疾患など狭い領域ではあるが、扱う医療の守備範囲は多岐に亘る。当院では 4 名の医師による指導のもと以下のような目標をかざして初期臨床研修を行っている。

- 1、療養担当規則に準じた保険医としての耳鼻咽喉科医の養成
- 2、耳鼻咽喉科医として標準的な能力の養成、すなわち耳鼻咽喉科疾患の診断のために必要な諸検査の理解とこれに基づく診断能力の養成。
- 3、耳鼻咽喉科特有の処置手技、初歩的手術手技、周術期管理の習得

週間スケジュール

- 1、外来診療：月～金 午前
- 2、手術：月、火、木 午後
- 3、外来特殊検査(予約)：水、金 午後

II. 研修の到達目標

- 1、耳鼻咽喉科外来診療を行う
 - ①聴覚検査、めまい平衡検査、嗅覚検査、味覚検査等の原理を理解するとともに、検査を自ら実施しその結果を解析し診断する
 - ②内視鏡検査を自ら実施し、鼻腔、咽頭、喉頭などの病的所見を把握する
 - ③画像検査：聴器を含む頭頸部の CT, MRI 画像、頸部エコーなどから所見を読み取る
 - ④診断に必要な血液・生化学的検査の結果を理解し診断と治療に結びつける
 - ⑤指導医とともに耳鼻咽喉科領域の救急医療に的確に対応できる
 - ⑥一般外来で行われる耳鼻咽喉科特有の処置の医学的治療効果を理解し実践する
 - ⑦インフォームドコンセントを含めた患者との信頼関係を構築する
- 2、入院患者の医療に参加する
 - ①指導医のもとに手術に助手として参加し、術後管理を行う
 - ②頭頸部悪性腫瘍のチーム医療の一員として参加し、手術、化学放射線治療、適切な全身管理に係る

III. 医師数[うち臨床研修指導医講習修了者数] (平成 29 年 3 月現在)

・常勤医師 4 名 [3 名]

IV. 学会認定医・専門医・指導医(平成 29 年 3 月現在)

日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医(3 名)・耳鼻咽喉科専門研修指導医(1 名)

日本気管食道科学会専門医(1 名)

日本がん治療認定医機構がん治療認定医(1 名)

日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医・暫定指導医(1 名)

V. 施設認定

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設